

統合型校務支援システムの「統合型」とは？

文部科学省が発行している「統合型校務性支援システム導入のための手引き」があります。その中では教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）、保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）などを統合した機能を有しているシステムを統合型校務支援システムとしています。

しかし、この機能だけでは、学校だけの校務効率化は図れても、共同事務室や給食センターなどを含んだ学校全体での業務効率化は図れません。弊社が考える統合型校務支援システムとは、学校だけの校務効率化を図るものではなく、共同事務室や給食センターと学校との連携も効率化することにより、学校全体の業務効率化を図ろうというシステムです。

共同事務室では、学校徴収金を管理するシステム、給食センターでは食数や、給食費を管理するシステム、これらを取り入れることによって、学校とその関係機関とのやり取りを効率化することで本当の校務の効率化に繋がると考えています。

校務支援システム「いっぽ」ラインナップ



★今日の一言★

秋の風物詩といえばお月見です。お月見は秋に行われますが、なぜ秋に行われるのかご存知ですか？

日本には昔からきれいな月を眺めて楽しむ習慣があり、そして秋は様々な作物の収穫時期でもあります。この二つの時期が重なっている為、次第にお月見には「豊作への祈願」と「収穫への感謝」が込められるようになりました。また電気がない時代に月明かりを頼りに農作業を行うこともあり、月に感謝をする意味でお月見が秋に行われるようになったそうです。皆さんも本来の意味を理解することで一味違うお月見が楽しめるのではないのでしょうか。

参照元http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/08/30/1408684-001.pdf